



令和3年度 学生募集要項

(学校案内を含む)

事項	推薦選抜	学力選抜	帰国子女特別選抜
願書受付期間	令和3年1月5日(火) ~1月7日(木)	令和3年1月27日(水) ~2月1日(月)	令和3年1月27日(水) ~2月1日(月)
試験日	令和3年1月16日(土)	令和3年2月21日(日)	令和3年2月21日(日)
推薦合格内定発表日時	令和3年1月25日(月) 10時	—————	—————
合格発表日時	令和3年3月1日(月) 10時		
入学確約書提出期限	令和3年2月1日(月)	令和3年3月8日(月)	
入学手続日	令和3年3月10日(水)		

※「合格内定通知」及び「合格通知書」は発表日時以降に発送します。

独立行政法人国立高等専門学校機構
北九州工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Kitakyushu College

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号
電話 (093) 964-7232 (学生課教務係)
FAX (093) 964-7236 (学生課)
URL <https://www.kct.ac.jp>

目 次

学 生 募 集 要 項

アドミッション・ポリシー

(「北九州高専が求める学生像」と「入学者選抜の基本方針」) 1

I. 募 集 人 員 2

II. 推薦による入学者の選抜 3

1. 募 集 人 員 3

2. 出 願 資 格 3

3. 願書受付期間及び場所 4

4. 出 願 手 続 4

5. 選 抜 方 法 5

(1) 推 薦 書 5

(2) 調 査 書 5

(3) 作 文 5

(4) 面 接 5

6. 作文・面接の日程及び検査場 5

7. 選抜結果の通知 5

8. 入学確約書の提出 5

9. 合格内定されなかった者の取扱い 6

10. 合 格 者 発 表 6

11. 注 意 事 項 6

III. 学力検査による入学者の選抜 7

1. 出 願 資 格 7

2. 願書受付期間及び場所 7

3. 出 願 手 続 8

4. 選 抜 方 法 8

(1) 学力検査教科 8

(2) 学力検査日程及び検査場 8

(3) 調 査 書 8

5. 合 格 者 発 表 9

6. 入学確約書または入学辞退届の提出 9

7. 学力検査による入学者選抜を受検した者の入試成績の開示 9

8. 注 意 事 項 10

IV. 帰国子女特別選抜 11

1. 出願資格及び出願要件 11

2. 願書受付期間及び場所 11

3. 出 願 手 続 12

4. 選 抜 方 法 13

(1) 学力検査教科 13

(2) 学力検査・面接の日程及び検査場 13

(3) 調 査 書 13

(4) 面 接 13

5. 合 格 者 発 表 13

6. 入学確約書または入学辞退届の提出 13

7. 注 意 事 項 13

V. 入学手続 14

VI. 個人情報の取扱い 14

(添 付 資 料)

学 校 案 内 15～ 24

出願書類用紙 (24ページのあとに添付してあります)

1. 入学志願書、電算機処理カード、受検票、写真票

2. 検定料振込受付証明書貼付票

3. 電算機処理カード記入要領

4. 中学校コード番号一覧

5. 推 薦 書 (学業成績推薦)

6. 調 査 書

7. 入学検定料の振込について

8. 住所票

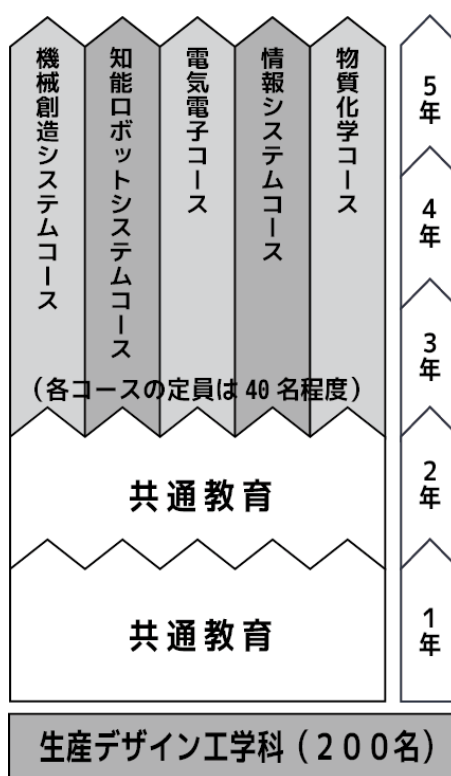
I. 募 集 人 員

学 科	募集人員	備 考
生産デザイン工学科	200名	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦は、募集人員の50%程度です。 ・帰国子女特別選抜の募集人員は、若干名です。

【生産デザイン工学科について】

「生産デザイン工学科の教育」（P19）で詳しく述べていますが、生産デザイン工学科では、機械、ロボット、電気・電子、情報、物質化学の各工学分野の専門的な知識や技術に加え、各分野に共通する基礎知識と技術、語学力、一般教養力、コミュニケーション能力を育む教育を行います。

大きな特徴として、第2学年までの2年間は、全学生共通の一般科目と専門基礎科目を学習し、専門教育（コース）への興味・関心を高め、自身の適性を考えるための**共通教育期間**、第3学年からは社会や地域の成長戦略も考慮して、機械創造システムコース・知能ロボットシステムコース・電気電子コース・情報システムコース・物質化学コースの5つの専門コースに分化する**専門工学教育期間**となります。



3年から配属される専門コースの決定に当たっては、本人の希望、1年次・2年次の学業成績などを慎重に考慮します。

2年間じっくり勉強して、志望する専門コースを決定することになりますが、希望調査は2年間で複数回行います。専門コース選択については、教員からのアドバイスも受けて、自分にあったコースを考えることができます。ただし、特定の専門コースに希望学生が集中し許容を超えるようであれば、希望の専門コースに配属されない場合があります。

Ⅱ. 推薦による入学者の選抜

1. 募集人員

学 科	募集人員	備 考
生産デザイン工学科	100名程度	推薦選抜の募集人員は、「学業成績推薦」の人員です。

2. 出 願 資 格

以下の①から④のいずれかに該当する者で、要件（1）を満たし、在籍学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- ①令和3年3月中学校を卒業見込みの者
- ②令和3年3月中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- ③令和3年3月義務教育学校を卒業見込みの者
- ④令和3年3月文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者

(1) 「学業成績推薦」

アからオをすべて満たす者とします。

ア. 合格した場合は必ず入学する者

イ. 合格内定されなかった場合でも「学力検査による選抜」を必ず受検する者^{注1)}

ウ. 中学校等における第2学年末と第3学年の1学期及び2学期の9教科学習成績5段階評定の合計が110以上の者^{注2)、注3)、注4)}

エ. 生産デザイン工学科に対する適性を有し、志望動機、理由が明確・適切である者

オ. 人物が優れている者

注1) 帰国子女特別選抜の出願資格及び要件を満たす者については「帰国子女特別選抜」での受検を認めます。

注2) 2学期制を実施している場合は、中学校等における9教科学習成績5段階評定の第2学年末と第3学年の前学期の2倍の合計が110以上の者

注3) 5段階評定は、原則として絶対評価とします。

ただし、相対評価しか取扱っていない学校については、その旨を調査書に明記してください。

注4) 中学校以外の学校の場合は、中学校における第2学年及び第3学年相当学年の評定を用いること。

※身体に障害のある入学志願者は「11. 注意事項」(P6)をご覧ください。

3. 願書受付期間

(1) 受付期間

令和3年1月5日(火)から1月7日(木)まで(必着)。
提出方法は郵送(書留)とし、期限は、令和3年1月7日(木)16時必着とします。(やむを得ず持参する場合は、書類確認後、後日受験票を郵送します。)
※受付期間を過ぎたものは一切受け付けません。

(2) 問い合わせ先

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号
北九州工業高等専門学校 学生課教務係
電話(093)964-7232
FAX(093)964-7236

4. 出願手続

(1) 志願者は、次の出願書類等を一括し、各注意事項を確認の上、在籍学校長を経て提出してください。
なお、在籍学校で複数人数分まとめて提出する場合は、志願者ごとに次の出願書類を(1)～(8)の順にそろえて、クリップで留めてください。

- | | |
|-------------|--|
| 1. 入学志願書 | 本校所定の用紙を使用してください。 |
| 2. 推薦書 | 本校所定の該当する推薦方法の用紙または電子書式を使用してください。
(電子書式は本校ウェブサイトの入試案内(入学試験情報詳細)に掲載しています) |
| 3. 調査書 | 本校所定の用紙または電子書式を使用してください。
(電子書式は本校ウェブサイトの入試案内(入学試験情報詳細)に掲載しています) |
| 4. 受検票 | 本校所定の用紙を使用してください。 |
| 5. 写真票 | ア. 本校所定の用紙を使用してください。
イ. 写真は、上半身・脱帽・正面向きのもの(縦4.5cm×横3.5cm)で、出願以前3ヶ月以内に撮影したものを、指定の欄に貼付けてください。
ウ. 写真の裏面に中学校名等及び氏名を記入してください。 |
| 6. 電算機処理カード | 電算機処理のために使用するもので、本校所定の用紙に記入してください。 |
| 7. 検定料 | 16,500円
銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振込依頼書(兼振替払出請求書)【お客さま控】」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付けてください。 |
| 8. 住所票 | 「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知を受ける住所、氏名、郵便番号を記入してください。 |
| 9. 返信用封筒 | 定形封筒(長型3号)に自己の住所、氏名、郵便番号を明記し、切手404円(簡易書留料金を含む)を貼付けてください。なお、送付先を在籍学校とする場合は、封筒(長型3号)裏面に「出願者数」を明記してください。受検票が3人までは404円、4人以上7人までは414円、それ以上は人数にあわせて追加の封筒を作成してください。 |

※本校ウェブサイトのURL <https://www.kct.ac.jp>

(2) 評定一覧表

志願者の在籍学校長は、推薦入試の可否に関係なく別途に評定一覧表（評定分布表は不要）を提出してください。（**学力選抜志願者とあわせて提出し、別葉とする必要はありません。**）

様式については、公立高等学校入学者選抜の際に作成するものと同じものを提出してください。（**氏名欄については本校志願者のみ氏名を記載し、氏名から成績までにアンダーライン<朱線>を付けてください。**）

提出期限は、令和3年2月1日（月）までに必着とします。

(注 意)

1. 出願書類の郵送は**書留郵便**とし、封筒の表に「**推薦選抜出願書類在中**」と朱書してください。
2. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
3. 出願書類等受領後は、記載事項の変更、書類の返還は一切行いません。
4. 納付された検定料は、次の場合を除き、返還は行いません。
ア. 検定料を納付したが出願しなかった場合
イ. 検定料を重複で納付した場合
5. 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

5. 選 抜 方 法

「学業成績推薦」は、推薦書、調査書、作文及び面接により総合判定します。

(1) 推薦書

在籍学校長から提出された推薦書により審査します。

(2) 調査書

在籍学校長から提出された調査書により審査します。

(3) 作 文

与えられた課題について作文したものを審査します。

(4) 面 接

個人面接とし、一人につき15分程度で行います。

6. 作文・面接の日程及び検査場

(1) 日 程

月 日	項 目	時 間
1月16日（土）	作 文	10時30分 ～ 11時20分
	面 接	12時20分 ～

(2) 検査場 北九州工業高等専門学校

7. 選抜結果の通知

令和3年1月25日（月）10時

本校に掲示するとともに、合格内定者には合格内定通知、在籍学校長には選抜結果の通知書を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイト(<https://www.kct.ac.jp>)にも掲載します。（合格発表日の10時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）

なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

8. 入学確約書の提出

合格内定者は、本校所定の用紙に必要事項を記入し、在籍学校長を経て、

令和3年2月1日（月）16時（必着）

までに必ず提出してください。

なお、**期限までに提出しない者は、入学を許可しません。**

9. 合格内定されなかった者の取扱い

「推薦による入学者の選抜」の結果、合格内定されなかった者は、学力検査による入学志願者として取り扱いますので、**改めて出願手続（検定料を含む）の必要はありません。**

※学業成績推薦合格内定されなかった場合は、必ず「学力検査による入学者の選抜」を受検してください。

※なお、学力検査当日は、「推薦による入学者の選抜」で交付した「受検票」が必要ですので、注意してください。

※帰国子女特別選抜の出願資格及び要件を満たす者については「帰国子女特別選抜」での受検を認めます。「推薦による入学者の選抜」で合格内定されなかった場合で、「帰国子女特別選抜」の受検を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和2年12月4日（金）までに本校学生課教務係に電話・電子メール・郵便等により照会の上、出願時に海外在住状況説明書を提出してください。（帰国子女特別選抜の詳細についてはP11を参照願います。）

10. 合格者発表

令和3年3月1日（月）10時

本校に掲示するとともに、合格者には合格通知書、在籍学校長には選抜結果の通知書を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイト (<https://www.kct.ac.jp>) にも掲載します。（合格発表日の10時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）

なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

11. 注意事項

本校に入学を志願する者で、身体に障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等）がある者、または発達障害者支援法で規定する障害等がある者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、次により申し出てください。

(1) 申し出の期限

令和2年12月4日（金）

(2) 申し出の方法

必要事項を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書または身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。

必要な場合は、本校において志願者及び保護者・在籍学校関係者等と面談を行うことがあります。

なお、申請書は原則として在籍学校を経由して提出してください。

「申請書記載事項」

(ア) 氏名

(イ) 障害等の種類、程度

(ウ) 受検上特別の配慮を希望する事項

(エ) 修学上特別の配慮を希望する事項

(オ) 在籍学校でとられていた特別な措置

(カ) 日常生活の状況

Ⅲ. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者または令和3年3月修了見込みの者
- (3) 義務教育学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者または令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者または令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※(8)により志願する場合は、令和3年1月6日(水)までに学生課教務係までお問い合わせください。

※身体に障害等のある入学志願者は「8. 注意事項」(P10)をご覧ください。

2. 願書受付期間

(1) 受付期間

令和3年1月27日(水)から2月1日(月)まで(必着)。

提出方法は郵送(書留)とし、期限は、令和3年2月1日(月)16時必着とします。

(やむを得ず持参する場合は、書類確認後、後日受験票を郵送します。)

※受付期間を過ぎたものは一切受け付けません。

(2) 受付場所及び問い合わせ先

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号
北九州工業高等専門学校 学生課教務係
電話(093)964-7232
FAX(093)964-7236

3. 出願手続

(1) 志願者は、次の出願書類等を一括し、各注意事項を確認の上提出してください。

なお、在籍学校で複数人数分まとめて提出する場合は、志願者ごとに次の出願書類を(1)～(8)の順にそろえて、クリップで留めてください。

- | | |
|-------------|--|
| 1. 入学志願書 | 本校所定の用紙を使用してください。 |
| 2. 調査書 | 本校所定の用紙または電子書式を使用してください。
(電子書式は本校ウェブサイトの入試案内(入学試験情報詳細)に掲載しています)
ただし、出願資格(4)～(8)に該当する者は、卒業(修了)証明書、成績証明書等を提出してください。 |
| 3. 受検票 | 本校所定の用紙を使用してください。 |
| 4. 写真票 | ア. 本校所定の用紙を使用してください。
イ. 写真は、上半身・脱帽・正面向きのもの(縦4.5cm×横3.5cm)で、出願以前3ヶ月以内に撮影したものを、指定の欄に貼付けてください。
ウ. 写真の裏面に中学校名等及び氏名を記入してください。 |
| 5. 電算機処理カード | 電算機処理のために使用するもので、本校所定の用紙に記入してください。 |
| 6. 検定料 | 16,500円
銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振込依頼書(兼振替払出請求書)【お客さま控】」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付けてください。 |

- 7. 住所票** 「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知を受ける住所、氏名、郵便番号を記入してください。
- 8. 返信用封筒** 定形封筒（長型3号）に自己の住所、氏名、郵便番号を明記し、切手404円（簡易書留料金を含む）を貼付けてください。なお、送付先を在籍学校とする場合は、封筒（長型3号）裏面に出席者数を明記してください。受検票が2人以上4人までは414円、5人以上9人までは460円、それ以上は人数にあわせて追加の封筒を作成してください。

※本校ウェブサイトのURL <https://www.kct.ac.jp>

(2) 評定一覧表

志願者の在籍または出身学校長は、別途に評定一覧表（評定分布表は不要）を提出してください。様式については、公立高等学校入学者選抜の際に作成するものと同じものを提出してください。

（氏名欄については本校志願者のみ氏名を記載し、氏名から成績までにアンダーライン<朱線>を付けてください。）

提出期限は、令和3年2月1日（月）までに必着とします。

（注 意）

1. 出願書類の郵送は**書留郵便**とし、封筒の表に「**学力選抜出願書類在中**」と朱書してください。
2. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
3. 出願書類等受領後は、記載事項の変更、書類の返還は一切行いません。
4. 納付された検定料は、次の場合を除き、返還は行いません。
 - ア. 検定料を納付したが出願しなかった場合
 - イ. 検定料を重複で納付した場合
5. 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、調査書により総合判定します。

(1) 学力検査教科……理科、英語、数学、国語及び社会の各教科について試験を行います。

(2) 学力検査日程及び検査場

ア. 日 程

月 日	検査教科	時 間
2月21日（日）	理 科	9時30分～10時20分
	英 語	10時40分～11時30分
	数 学	11時50分～12時40分
	国 語	13時30分～14時20分
	社 会	14時40分～15時30分

※過去の国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題及び解答については、下記のURLにて公開しています。

<https://www.kosen-k.go.jp/examination.html>

イ. 検査場 北九州工業高等専門学校

ウ. 検査方法 マークシートで解答する方法で行います。

(3) 調査書

在籍または出身学校長から提出された調査書により審査します。

5. 合格者発表

令和3年3月1日（月）10時

本校に掲示するとともに、合格者には合格通知書、在籍または出身学校長には選抜結果の通知書を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイト (<https://www.kct.ac.jp>) にも掲載します。(合格発表日の10時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

6. 入学確約書または入学辞退届の提出

合格者は、本校所定の用紙に必要事項を記入し、在籍または出身学校長を経て、

令和3年3月8日（月）15時（必着）までに必ず提出してください。

なお、期限までに提出しない者は、入学を許可しません。

7. 学力検査による入学者選抜を受検した者の入試成績の開示

受検者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

- (1) 申請者
学力検査による入学者選抜の受検者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)
- (2) 開示内容
 - ① 学力検査の科目別得点
 - ② 総得点（学力検査の得点と調査書の評価点の合計点）
 - ③ 合格者の最低総得点
- (3) 申請期間
令和3年3月1日（月）から令和3年4月30日（金）までとします。
(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9:00～11:30、13:00～16:00)
- (4) 申請に必要な書類
 - ① 北九州工業高等専門学校入試成績開示申請書
 - ② 本校受検票
 - ③ 返信用封筒（開示通知書送付用。郵送による開示請求の場合のみ。）
長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学志願書に記載されている住所に限る。）・氏名を明記の上、404円分の切手を貼ってください。
(注) 北九州工業高等専門学校入試成績開示申請書は、本校ウェブサイトからプリントアウトすることができます。
- (5) 申請方法
開示を請求する受検者本人が来校し、本校の受検票（コピーは不可）を提示し、学生課の窓口で申請してください。
本人が来校することができない場合は、郵便でも受け付けますので本校の受検票（コピーは不可）を同封してください。(令和3年4月30日（金）消印有効。)
- (6) 開示の方法
本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に開示します。
ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに開示できないことがあります。
郵便により申請した場合には、提出された返信用封筒を使用し郵送により開示します。その際、提出された本校の受検票は同封します。(一週間程度日数がかかる場合があります。)
- (7) 問い合わせ先
〒802-0985
北九州市小倉南区志井5丁目20番1号
北九州工業高等専門学校 学生課教務係
TEL (093)964-7232

8. 注 意 事 項

本校に入学を志願する者で、身体に障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等）がある者、または発達障害者支援法で規定する障害等がある者で、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、次により申し出てください。

(1) 申し出の期限

令和3年1月6日（水）

(2) 申し出の方法

必要事項を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書または身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。

必要な場合は、本校において志願者及び保護者・在籍または出身学校関係者等と面談を行うことがあります。

なお、申請書は原則として在籍または出身学校を経由して提出してください。

「申請書記載事項」

(ア) 氏名

(ウ) 受検上特別の配慮を希望する事項

(オ) 在籍または出身学校でとられていた特別な措置

(イ) 障害の種類、程度

(エ) 修学上特別の配慮を希望する事項

(カ) 日常生活の状況

IV. 帰国子女特別選抜

1. 出願資格及び出願要件

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者または海外在住期間に中学校に相当する2年間の課程を修了している者で、平成31年4月以降の帰国者）で、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者または令和3年3月修了見込みの者
- (3) 義務教育学校を卒業した者または令和3年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程を修了した者または令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年令に達し、本校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。

入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和3年1月6日（水）までに、本校学生課教務係に電話・電子メール・郵便等により照会してください。

2. 願書受付期間及び場所

(1) 受付期間

令和3年1月27日（水）から2月1日（月）まで（必着）。

提出方法は郵送（書留）とし、期限は、令和3年2月1日（月）16時必着とします。

やむを得ず持参する場合は、書類確認後、後日受験票を郵送します。）

※受付期間を過ぎたものは一切受け付けません。

(2) 問い合わせ先

〒802 - 0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号

北九州工業高等専門学校 学生課教務係

電 話 (093) 964-7232

FAX (093) 964-7236

3. 出 願 手 続

志願者は、次の出願書類等を一括し、各注意事項を確認の上提出してください。

なお、在籍学校で複数人数分まとめて提出する場合は、志願者ごとに次の出願書類を（１）～（８）の順にそろえて、クリップで留めてください。

1. 入学志願書	本校所定の用紙を使用してください。
2. 調 査 書	本校所定の用紙または電子書式を使用してください。 (電子書式は本校ウェブサイトの入試案内(入学試験情報詳細)に掲載しています) ただし、出願資格（４）～（８）に該当する者は、卒業（修了）証明書、成績証明書等を提出してください。
3. 受 検 票	本校所定の用紙を使用してください。
4. 写 真 票	ア. 本校所定の用紙を使用してください。 イ. 写真は、上半身・脱帽・正面向きのもの(縦4.5cm×横3.5cm)で、 出願以前3ヶ月以内に撮影したものを、指定の欄に貼付けてください。 ウ. 写真の裏面に中学校名等及び氏名を記入してください。
5. 海外在住状況 説 明 書	電子書式を使用してください。 (電子書式は本校ウェブサイトの入試案内(入学試験情報詳細)に掲載しています)
6. 電 算 機 処理カード	電算機処理のために使用するもので、本校所定の用紙に記入してください。
7. 検 定 料	16,500円 銀行または郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口において振込のうえ、受付日付のある「振込受付証明書」または「振込依頼書(兼振替払出請求書)【お客さま控】」を必ず受け取り、「検定料振込証明書貼付票」の所定の位置に貼付けてください。
8. 住 所 票	「合格通知書」等を送付するためのもので、本校所定の用紙にその通知を受ける住所、氏名、郵便番号を記入してください。
9. 返信用封筒	定形封筒(長型3号)に自己の住所、氏名、郵便番号を明記してください。 この封筒は、受検票等の送付に使用しますので、10日程度で確実に受け取ることができる住所を記載してください。
10. そ の 他	外国籍を有する者は市町村長の発行する「住民票の写し」等、永住者の在留資格がわかるものを提出してください。

※本校ウェブサイトのURL <https://www.kct.ac.jp>

(注 意)

1. 出願書類の郵送は**書留郵便**とし、封筒の表に「**帰国子女特別選拔出願書類在中**」と朱書してください。
2. 出願書類等の不備なものは受け付けません。
3. 出願書類等受理後は、記載事項の変更、書類の返還は一切行いません。
4. 納付された検定料は、次の場合を除き、返還は行いません。
ア. 検定料を納付したが出願しなかった場合
イ. 検定料を重複で納付した場合
5. 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、調査書及び面接により総合判定します。

(1) 学力検査教科……理科、英語、数学及び国語の各教科について試験を行います。

(2) 学力検査・面接の日程及び検査場

ア. 日 程

月 日	検査教科	時 間
2月21日(日)	理 科	9時30分～10時20分
	英 語	10時40分～11時30分
	数 学	11時50分～12時40分
	国 語	13時30分～14時20分
	面 接	14時40分～

※過去の国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題及び解答については、下記の URL にて公開しています。

<https://www.kosen-k.go.jp/examination.html>

イ. 検査場 北九州工業高等専門学校

ウ. 検査方法 マークシートで解答する方法で行います。

(3) 調査書

在籍または出身学校長から提出された調査書により審査します。

(4) 面 接

個人面接とし、一人につき15分程度で行います。

5. 合 格 者 発 表

令和3年3月1日(月) 10時

本校に掲示するとともに、合格者には合格通知書、在籍または出身学校長には選抜結果の通知書を上記日時以降に発送します。

また、本校ウェブサイト (<https://www.kct.ac.jp>) にも掲載します。(合格発表日の10時頃を予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

6. 入学確約書または入学辞退届の提出

合格者は、本校所定の用紙に必要事項を記入し、在籍または出身学校長を経て、

令和3年3月8日(月) 15時(必着)

までに必ず提出してください。

なお、期限までに提出しない者は、入学を許可しません。

7. 注 意 事 項

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

V. 入学手続

令和3年3月10日（水）

「入学確約書」を提出した合格者に対し、入学意思の再確認と入学に必要な書類の提出及び諸経費の納入手続を行いますので必ず出校してください。

なお、当日出校しない者は、入学を許可しません。

(1) 提出書類 保証書、誓約書等（合格通知書に同封します）

(2) 費用

① 入学料 84,600円（入学手続日の前日までに納入）

② 教科書代 約 40,000円

③ 教材費 約 70,000円

合計 約 194,600円

(注意) 前期分授業料（117,300円）及び学生会費等其他経費（約110,000円）については、後日徴収します。

※前述の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※高等学校等就学支援金の受給資格認定を受けることにより、実際の納入額は変更となります。詳細はP22を参照願います。

VI. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された志願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 入学料、授業料免除申請の審査

(3) 奨学金申請の審査

(4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

学 校 案 内

1. 本校の創設及び沿革

我が国産業の目覚ましい発展に伴い、科学技術者の養成が強く要望され、昭和37年度から新たな学校制度としての高等専門学校が発足した。

北九州工業高等専門学校は、この新しい高等教育機関の一つとして工業に関する専門教育を授け、産業の興隆並びに文化の発展に貢献し得る有能な技術者を育成するため、昭和40年4月1日工業都市北九州市に創設された。当時は、機械工学科（定員80名）、電気工学科（定員40名）の2学科で発足したが、昭和45年度には化学工学科（定員40名）、昭和62年度には電子制御工学科（定員40名）が新たに増設され、平成元年度には、従来の機械工学科（定員80名）が、機械工学科（定員40名）と制御情報工学科（定員40名）の2学科に改組された。平成10年度には、化学工学科が物質化学工学科に改組され、平成14年度には、電気工学科が電気電子工学科に改名された。平成16年度には、独立行政法人国立高等専門学校機構法により独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する北九州工業高等専門学校となった。平成27年度には準学士課程の高度化・再編を図り、5学科を生産デザイン工学科の1学科（第3学年から、機械創造システム、知能ロボットシステム、電気電子、情報システム、物質化学の5コース）に改組された。

また、平成8年度には、生産工学専攻、制御工学専攻、化学工学専攻の3専攻をもつ専攻科（大学課程相当）が設置された。平成16年度には、化学工学専攻が物質化学工学専攻に名称変更された。平成27年度には専攻科課程の高度化・再編を図り、3専攻が生産デザイン工学専攻の1専攻に改組された。

平成18年5月には、準学士課程第4学年から専攻科第2学年までの4年間の「生産デザイン工学」教育プログラムが、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けた。これによって、国際的に通用する技術者を育成するための教育プログラムとして認められている。

2. 所 在 地

〒802-0985 北九州市小倉南区志井5丁目20番1号

JR小倉駅からJR日田彦山線で志井公園駅まで約20分（下車徒歩15分）、JR小倉駅前バス停から主に34・36番系統バスで北九州高専前バス停まで約40分（下車徒歩2分）、小倉駅からモノレールで志井駅または企救丘駅まで約18分（下車徒歩15分）。都心を離れた閑静な地に位置し、勉学に極めて恵まれた環境にあります。

3. 本校の教育方針

本校では、教育理念「明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成」と3つの教育目的及びA～Gの学習・教育目標を掲げ、アドミッション・ポリシーに適した学生を対象に、カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程により教育を行い、ディプロマ・ポリシーに沿って卒業を認定します。

『教育目的』

- ☆ 幅広い工学基礎と創造的技術開発力の修得
- ☆ 国際社会で尊敬され、信頼される国際センスの修得
- ☆ 地球にやさしい技術を開発できる心豊かな人間性の涵養

『学習・教育目標』

A 技術内容を理解できる基礎学力（数学、自然科学、情報）と自己学習能力を持つ技術者

- ①数学・物理・化学などの自然科学、情報技術に関する基礎を理解できる。
- ②自主的・継続的な学習を通じて、基礎科目に関する問題を解くことができる。

B 専門分野における基礎知識を身に付けた技術者

- ①専門分野における専門工学の基礎を理解できる。
- ②自主的・継続的な学習を通じて、専門工学の基礎科目に関する問題を解くことができる。

C 専門工学基礎知識の上に実践的技術を学んだ技術者

- ①実験や実習を通じて、問題解決の実践的な経験を積む。
- ②機器類（装置・計測器・コンピュータなど）を用いて、データを収集し、処理できる。
- ③実験結果から適切な図や表を作り、専門工学基礎知識をもとにその内容を考察することができる。
- ④実験や実習について、方法・結果・考察をまとめ、報告できる。

D 身に付けた工学知識・技術をもとにして問題を解決する能力を有する技術者

- ①専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を総合し、活用できる。
- ②工学知識や技術を用いて、課題解決のための調査や実験を計画し、遂行できる。
- ③工学知識や技術を用いて、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。

E 多様な文化を理解するための教養を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーションの基礎能力を有する技術者

- ①歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。
- ②日本語で論理的に記述し、報告・討論できる。
- ③英語によるコミュニケーションの基礎能力（読解・記述・会話）を身に付ける。

F 歴史・文化・社会に関する教養を持ち、技術の社会・環境とのかかわりを考えることのできる技術者

- ①歴史・文化・社会に関する基礎的な知識を身に付ける。
- ②工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。
- ③技術者としての役割と責任を認識できる。

G 社会の一員としての自覚、倫理観を持ち、心豊かな人間性を有する技術者

- ①健やかな心身を持ち、社会性、協調性を身に付ける。
- ②社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。

4. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

幅広い工学基礎、創造的技術開発力、及び技術者としての倫理観を身に付けるとともに、地球環境に配慮し、持続可能社会の構築に貢献できる技術者を育成します。このために、以下の学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程を学修し、所定の単位を修得した者に対して卒業を認定します。

（学修成果）

①（機械創造システムコース）

数学、物理に関する知識、機械工学に関する知識・技術を理解し、問題解決に応用できる。

（知能ロボットシステムコース）

数学、物理に関する知識、機械工学、情報工学、制御工学に関する知識・技術を理解し、問題解決に応用できる。

（電気電子コース）

数学、物理に関する知識、電気電子工学に関する知識・技術を理解し、問題解決に応用できる。

（情報システムコース）

数学、物理に関する知識、電気電子工学、情報工学、システム制御工学に関する知識・技術を理解し、コンピュータを駆使して問題解決に応用できる。

（物質化学コース）

数学、物理、化学、生物に関する基礎知識、物質化学工学に関する専門知識・技術を理解し、問題解決に応用できる。

- ②技術者に必要な倫理観と幅広い視野を身に付け、環境に配慮した持続可能社会の構築に貢献する意志を持つ。
- ③多様な文化を理解するための教養を持ち、日本語および外国語によるコミュニケーションの基礎能力を身に付ける。

5. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力・態度を育成するために、本校の教育理念、教育目的を踏まえ、学習・教育到達目標に対応する以下の教育課程を編成しています。また、授業科目毎に定めたシラバスに従って、学修成果の評価を行い、所定の単位を認定します。

- ①専門工学に関する知識・技術を体系的に理解できるように、2年生までに工学の基本となる自然科学と工学の基礎を学び、3年生から専門工学科目群（*）を学ぶ。科目には講義、実験、実習があり、これらを組み合わせることで知識・技術の定着と問題解決能力の育成を図る。総まとめとして、5年生で卒業研究に取り組む。

*専門コースの科目群は以下の通りである。

（機械創造システムコース）

数学、物理、工業力学、材料力学、熱力学、水力学の機械基礎科目と、機械工作法、製図、設計工学の設計生産科目、さらに4、5年生には、これら機械系技術に加え、メカトロニクスや制御工学の知識をも活用する創造デザイン演習などの科目を系統的に配置している。

（知能ロボットシステムコース）

数学、物理、機械工学、情報処理、制御理論を基礎に、機械制御システムであるロボットの設計製作を対象として、インターフェース技術、組込み技術、設計技術を活用するための科目を系統的に配置している。

（電気電子コース）

数学、物理、電気回路、電子回路、電気磁気学、制御工学、情報処理を基礎として、電力と情報分野の科目とエレクトロニクスに関する科目、問題解決型の実習・実験科目を系統的に配置している。

（情報システムコース）

数学、物理、電気回路、電子回路、情報処理、制御理論を基礎として、システム制御を対象とする科目とICT（情報通信技術）を活用するための科目を系統的に配置している。

（物質化学コース）

無機化学、分析化学、有機化学、高分子化学、生物化学、物理化学、化学工学等の共通必修科目の上に、4年生から、応用化学系では物質工学や応用化学工学等に関連する必修科目、応用生物系では応用生物工学及び食品工学等に関連する必修科目を系統的に配置している

- ②技術者に必要な倫理観と幅広い視野を身に付け、環境に配慮した持続可能社会の構築に貢献する意思を養うため、5年間を通して一般教養科目と専門科目を学び、企業等で実習を行う。これらで学んだ知識と経験を活かし、卒業研究で社会の発展に寄与するテーマに取り組む。

- ③多様な文化を理解し、多様な人々とコミュニケーションを図れるように、一般教養科目、英語、第2外国語を設定している。

6. 教育課程

高専教育の特徴は、学年制による5年間の一貫した教育課程を実施し、一般科目と専門科目とを有機的に関連させ効率的な教育を行うことにあります。1年間の授業期間は35週で、一般科目80単位以上、専門科目87単位以上、合計167単位以上（1単位は50分×30週）を修得することとなっています。専門科目の修得単位数は理工系大学と同程度で、実験、実習、設計製図の修得単位数は理工系大学よりも多く、これは卒業後、生産技術の職場で活発に技術活動ができるよう考慮しているためです。

本校の本科5年間の授業科目は次のとおりで、一般科目と専門科目には、それぞれ必修科目と選択科目があります。

(令和3年度入学生 授業科目一覧 (開設予定))

区分	共通科目 (一般、専門基礎)	専門科目				
		機械創造 システムコース	知能ロボット システムコース	電気電子コース	情報システムコース	物質化学コース
必修科目	<一般科目> 国語Ⅰ 国語Ⅱ 現代文(留学生は日本語) 近代文学 地理 公共倫理 歴史 現代社会 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 代数幾何Ⅰ 代数幾何Ⅱ 物理Ⅰ 化学 総合科学 保健 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育Ⅲ 生涯スポーツ 音楽 英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語C	物理Ⅱ 応用数学 確率・統計基礎 数値計算法 材料学 機構学 工業力学 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 熱力学 熟機関工学 伝熱工学 水力学 流体力学 機械工作法 機械加工学 設計工学 機械工学演習 創造デザイン演習Ⅰ 創造デザイン演習Ⅱ 創造デザイン演習Ⅲ 機械製図 振動工学 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ メカトロニクス工学 工業英語 工作実習 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 卒業研究	物理Ⅱ 知能ロボットシステム概論 力学 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機構学 機械工作法 工作実習 インターフェース工学 組込み技術演習Ⅰ 組込み技術演習Ⅱ プログラミング 情報処理技術演習 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 機械力学 熱力学 水力学 機械設計 制御工学 創造ロボット演習Ⅰ 創造ロボット演習Ⅱ アルゴリズム コンピュータグラフィクス 知能ロボットシステム実験Ⅰ 知能ロボットシステム実験Ⅱ 熱システム工学 流れ学 ロボット制御演習 ロボット工学 システム制御工学 メカトロニクス工学 数値計算法 卒業研究	物理Ⅱ 電子回路設計 電気機器設計 情報処理Ⅲ 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ 電気電子工学実験Ⅰ 電気電子工学実験Ⅱ 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 応用物理 電気電子工学演習Ⅰ 電気電子計測工学 電子工学 基礎制御工学Ⅰ 基礎制御工学Ⅱ パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ 電子回路製作実習 数値計算法 電気電子材料 高電圧工学 通信工学 電力システム工学 エネルギー変換工学 工業英語 電気法規及び施設管理 電気電子工学実験Ⅲ 卒業研究	物理Ⅱ 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電気回路 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ アロリズムとデータ構造Ⅰ アロリズムとデータ構造Ⅱ システムプログラミングⅠ システムプログラミングⅡ 計測工学 電子情報工学実験実習Ⅰ 電子情報工学実験実習Ⅱ 電子情報工学実験実習Ⅲ 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 過渡現象論 電気回路演習 ネットワークプログラミング ネットワーク構成論Ⅰ ネットワーク構成論Ⅱ 情報基礎 数値計算法Ⅰ 制御理論Ⅰ 制御理論Ⅱ 制御機器Ⅰ 制御機器Ⅱ 情報制御システム創造演習 工業英語 データベース基礎 信号処理 システム制御理論Ⅰ システム制御理論Ⅱ シミュレーション 卒業研究	分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 有機化学Ⅳ 生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 物理化学Ⅳ 物理化学Ⅴ 物質化学演習Ⅰ 物質化学演習Ⅱ 物質化学演習Ⅲ 物理Ⅱ 物質化学実験Ⅰ 物質化学実験Ⅱ 高分子化学Ⅰ 高分子化学Ⅱ 化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ 化学数学 応用物理Ⅰ 応用物理Ⅱ 工業英語 物理化学実験 環境資源エネルギー工学 基礎生物化学工学Ⅰ 基礎生物化学工学Ⅱ 生物反応工学 物質化学卒業研究輪講 卒業研究
	<専門基礎科目> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 基礎製図Ⅰ 基礎製図Ⅱ 電気基礎 材料基礎 工学基礎Ⅰ 工学基礎Ⅱ 工学基礎実験Ⅰ 工学基礎実験Ⅱ	精密加工学 材料力学Ⅲ 新素材材料学 長期学外実習 工作実習基礎 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ CAE演習 応用物理 基礎デジタル回路 ロボット工学 工業英語演習 品質管理 機械創造システム特論Ⅰ 機械創造システム特論Ⅱ	長期学外実習 プロジェクト演習 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 品質管理 図形処理工学 知能ロボットシステム 特論Ⅰ 知能ロボットシステム 特論Ⅱ	情報処理Ⅳ 電気電子工学演習Ⅱ 電気電子工学演習Ⅲ カーエレクトロニクス 長期学外実習 学外実習 電気電子工学特論Ⅰ 電気電子工学特論Ⅱ 基礎パワーエレクトロニクス パワーエレクトロニクス演習 電気回路Ⅲ 数値計算法演習	画像処理 数値計算法Ⅱ プログラミング演習 長期学外実習 プロジェクトマネジメント演習 システム制御演習 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 情報技術概論 システム工学 人工知能 ロボット工学 情報システム特論Ⅰ 情報システム特論Ⅱ	長期学外実習 品質管理 安全工学 構造解析学 学外実習 遺伝子工学 高分子工学Ⅲ 応用有機化学
選択科目	<一般科目> 第2外国語 一般総合選択 (日本文学論、社会学論、体育特論、数学演習、数学特論、英語特論、英語演習) 社会選択 (文化交流史、哲学・倫理学、文化地理学、法学、経済学)	<工学融合科目> 材料力学概論 基礎カーエレクトロニクス コンピュータ概論 メカトロニクス概論 物質化学工学概論				

7. 生産デザイン工学科の教育

(1) 教育目的と養成する人物像

生産デザイン工学科では、第1学年と第2学年の2年間は一般科目と専門基礎科目について全学生が共通に学習する期間に設定し、第3学年からは機械創造システムコース・知能ロボットシステムコース・電気電子コース・情報システムコース・物質化学コースの5つの専門コースで編成しています。これにより、低学年での一般教育・専門教育の基本となる基礎学理の徹底した教育と専門コース教育への興味・関心の涵養、高学年での高度専門教育と専門分野横断教育（融合教育）の実現、専攻科教育へのスムーズな連結性確保などを図っています。

なお、「生産」とは『工業におけるハード・ソフト・材料・生産プロセスなどの設計、製作、評価、改良などの活動』、「デザイン」とは『他分野の工学知識も身に付け広い視野から問題をとらえ解決することができる素養』（本校JABEE対応「生産デザイン工学」教育プログラムの定義より）と位置付けています。

本学科では「所属コースの専門学力に加え、他分野の基礎知識を備えた視野の広い人材の養成」を目的として、次に示す「技術者」の素養を持った人物の育成を教育目標としています。

- (1) 工学に関する基礎学力と自学自習能力を身に付けた技術者
- (2) 専門工学領域に関する高度な知識と技術を身に付けた技術者
- (3) 社会の発展のために貢献できる地域マインドを有した技術者
- (4) 多様な価値観を理解する豊かな教養と見識を持ち、柔軟な思考と洞察のできる技術者
- (5) グローバルな現場で協調性豊かにリーダーシップを発揮できる技術者

(2) 一般科目の教育

一般科目では、知識基盤社会やボーダレス社会への移行が進む現代において「自主自立した有能な社会人として、心豊かな人生を送ることができる人間を育む」ことを教育目的としています。併せて、専門科目の基礎を習得させ、以下のような人物を養成することを教育目標に掲げています。

- (1) 総合的な教養・見識を身に付け、多面的な思考と正しい判断のできる人物
- (2) 真理を追究し、国際的視野に立って時代の要請を洞察できる人物
- (3) 自己を確立し、且つ多様な社会・文化・自然を尊重して、これらとの共生を目指すことのできる人物
- (4) 論理的思考・言語表現などの基礎的能力を養成し、自ら問題を発見し解決できる人物
- (5) ゆるぎない信念を持ち、生涯にわたり健やかな心身を自ら育むことのできる人物

上記のような人物を養成するために、一般科目の教育課程は、高等学校課程に準拠した学習内容を持つと同時に、専門科目での高度な教授内容に堪えうる基礎的学力の修得を目指して構成されています。特に、各専門科目へのスムーズな発展的学習を可能にするために、全ての学生が同一内容の共通科目を受講することになっています。

また、専門科目につながる科目以外にも、総合的教養・見識の養成を目的とした、音楽・保健・生涯スポーツなどを必修科目として、グローバル化した国際社会と多様化した文化に対応するために、第二外国語・社会選択・一般総合選択などを選択科目として配置しています。

(3) 専門コースの教育

①機械創造システムコース

機械創造システムコースでは、高度な生産システム（電気、情報、制御）に対応し、新たな技術を創造するための基礎学力（数学、自然科学、情報）と自己学習能力を持つ技術者の育成を目指しています。最近、自動車や家電などのものづくり産業において、その急速な技術の進歩は製造機械のみに留まらず、情報・制御機器にまで及び従来のものづくりの形態が大きく変わり、より多様化しています。設計に必要なイメージの具現化から加工・計測に至るまでをコンピュータで行うCAE（CAD、CAM）の技術も要求されています。そのため、機械工学をベースとした基礎知識の習得と制御、情報、化学分野にも幅広く対応出来る技術者の養成を行います。

本コースには、上述した知識を学ぶことで取得可能な「機械設計技術者試験 3 級」、「3 次元 C A D 利用技術者試験 2 級および準 1 級」等の資格に加え、所定の単位を習得し卒業後に企業等で実務経験を積むことで取得可能な「ボイラー、タービン主任技術者（第 1 種、第 2 種）」（申請のみ）などがあります。

②知能ロボットシステムコース

知能ロボットシステムコースでは、機械に知能を与えることができる、すなわちロボットを作ることができる技術者の育成を目的に、機械工学を柱に、ロボット設計技術、組込み技術、センシング技術、インターフェース技術、知能化情報技術、システム制御技術、それらを繋ぐシステム統合化技術を論理的かつ実践的に修得できる教育課程を設置しています。人間が知能や感覚によって行ってきた複雑な作業を機械に行わせるためには、機械自身が、周囲の情報（環境や状態）を正確に把握し、その情報に基づいて論理的に思考し、その思考によって動作しなければなりません。さらに、このようなロボットを実現する技術は、身の回りの多くの製品に用いられるようになり、ロボットによる多様なサービスが創出される未来社会では、社会的課題の解決にも直結する技術です。したがって、ユーザーの視点や社会実装における課題に対して、ロボット技術を駆使して自ら解決策を提案・デザインできる優れた人材を育成するために、創造的に考える力を養う教科横断的な専門科目を配置しています。

本コースでは、受検できる資格試験として「情報処理技術者試験」、「3 次元 C A D 利用技術者試験」、「機械設計技術者試験」、「組込みソフトウェア技術者試験」などがあります。

③電気電子コース

電気電子コースでは、自ら学び続けることで、急速な技術の変化に対応でき、あらゆる分野・場所で活躍できる電気電子技術者の育成を目指しています。3 年生以上では、2 年生までに学んだ工学基礎を土台として、電気電子工学（電気、電子、情報、機器）の専門的な知識・技術を学びます。卒業生が電気主任技術者として認定されるのに必要な科目・実験を十分実施しながらも、これからの地域・産業界のニーズに応えるため、エネルギーインフラ、ロボット・自動車産業にとって重要なパワーエレクトロニクス教育に重点を置いています。また、次世代自動車産業に貢献する人材育成のため、全コース対象のカーエレクトロニクス科目を新設します。自主性、独創性、課題解決能力を身に付けた電気電子技術者育成のために、プロジェクト実習、PBL を行う電子回路設計、電子回路製作実習を設定しました。5 年生の卒業研究は、全コース共通にすることで、電気電子工学の知識・技術を他の工学分野の課題解決に活用するとともに、多様性のあるチームでの共同作業について学べるようにしています。

本コースで所定の単位を取得し卒業後に企業等で実務経験を積むことで、国家資格・第 2 種または第 3 種電気主任技術者（実務経験の内容と経験年数によって異なる）の取得が可能です。また、本コースの卒業生は、国家資格・第 2 種電気工事士の受験において筆記試験が免除されます。

④情報システムコース

情報システムコースでは、情報産業および情報技術を必要とする製造業において、高度情報化社会の技術変化に柔軟に対応できる理解力と創造力を持った実践的な技術者の育成を目指しています。

コンピュータ応用分野において、コンピュータシステム、ネットワークシステム、情報通信システム、計測・制御システムなど I C T（情報通信技術）を活用したシステムの計画、解析、設計、開発、構築、運用などを行うには、システムのソフトウェアとハードウェアの両方の技術を理解したうえで対応することが必要となります。そのため、本コースでは、これらのシステムにおけるソフトウェアとハードウェアの知識と技術が体系的に身に付くように教育課程を構成しています。低学年では、電気電子工学、情報工学分野の専門基礎科目を学び、これらを土台として高学年では、情報工学分野とシステム制御工学分野のハードウェアとソフトウェアに関連する専門科目を体系的に学習します。また講義内容の理解を深め、実践的な応用力を育成するために、各学年で演習や実験実習を行います。

本コースの教育課程は、国家資格である基本情報技術者試験（F E）の内容にも対応しています。

⑤物質化学コース

物質化学コースでは、物質化学が関わる環境保全、クリーンエネルギー、高機能性素材、食品、医薬品、資源有効活用など多様な産業分野に対応するために、多様化・複雑化した問題に対処し得る工学知識や実践的技術を修得した実践的な技術者の育成を目指しています。応用化学系では、無機・有機ナノ材料の合成や物性評価、化学工学を学び、新素材開発や低炭素化技術への応用を修得します。具体的には、応用化学の専門知識を新しい物質・材料の開発に適用する方法が考えられる技術者、応用化学の専門知識を利用し、物質・材料の性質を的確に評価する方法が考えられる技術者の養成を行います。応用生物系では、生物（細胞や微生物を利用した）生産を学び、その検査への展開を修得します。具体的には、応用生物の基礎知識と技術を身に付けて、生物産業（食品、医薬品、環境技術）に貢献する能力を身に付けた技術者、応用生物に関するより専門的な技術を身に付けて、食品・医薬品・環境技術の生産や品質管理技術に関する専門的能力を身に付けた技術者の養成を行います。

本コースでは、卒業後に修得できる主な資格として「毒物劇物取扱責任者（資格取得（受験なし）」、「危険物取扱者（甲乙）（受験資格：卒業すれば得られる）」、「衛生工学衛生管理者（受験資格：卒業すれば得られる）」、「衛生管理者（1種、2種）（受験資格：実務経験1年以上）」および「作業環境測定士（受験資格：実務経験1年以上）」などがあります。

8. 専攻科の概要

本校には、高専卒業生等を受入れて2年間のより高度な技術教育を行う専攻科が設置されています。高専や短大等の卒業生を受け入れ、2年間の高度融合複合教育を実施します。リソースからプロダクト、さらにそのリサイクルまで含めた「循環型生産」の各ステージにおける技術を融合・複合の観点から学び、広い視野から問題をとらえ解決することのできる融合・複合技術に秀でたスペシャリストの育成を行います。なお、課程修了者には、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格すれば「学士」の学位が授与されます。

9. 課外活動

課外活動とは、正課の授業時間外に行う学生の組織的な諸活動のすべてをいいます。その活動を通して自己を生かし、組織の発展に寄与することは、将来指導的立場に就く者にとって極めて貴重な経験となります。

このため本校の課外活動は、学校行事と併せ、学生が自主的に行うサークル活動が各方面にわたって活発に行われています。

10. 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、学業・人物が優れ、健康であり学資支弁困難と認められる者に対しては、選考の上、奨学金が貸与されます。（貸与月額、令和2年度分です。）

第一種奨学金 (無利子)	貸 与 月 額	
	自宅通学	10,000円 又は 21,000円
	自宅外通学	10,000円 又は 22,500円

このほかに、県、市及び財団法人等による奨学制度が数種あります。

11. 入学料、授業料の免除制度

(1) 次の場合には、入学料免除の申請ができます。

ア. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、または学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が困難であると認められる場合

イ. 前号に準ずる場合であって、校長が相当と認める事由がある場合、全額又は半額を免除される。

(2) 次の場合には、入学料徴収猶予の申請ができます。

ア. 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

イ. 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、または入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学手続き終了の日までに納付が困難であると認められる場合

ウ. その他やむを得ない事由があると認められる場合

(3) 授業料免除

高等学校等就学支援金制度により授業料の全額が支援されなかった者のうち、入学前1年以内において、学生の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた者について、選考の上、各期の授業料の残額分を免除することがあります。

12. 高等学校等就学支援金制度

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が、安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金が創設され、家庭の教育費の負担が軽減されます。

この高等学校等就学支援金制度については、高等専門学校（1～3年生が該当）も含まれており、申請により授業料について年間118,800円が助成されます。

また、保護者の所得に応じて、申請によりさらに加算される場合があります。

詳しくは、文部科学省のウェブサイトをご覧ください。

13. 学 生 寮

本校には、学校敷地内に学生寮が設置されています。

高専の学生寮は、共同生活を通じての有為な人間形成を設置の主目的としています。そのため本校では、規律ある生活を通して互いに切磋琢磨しながら、協調心や忍耐力、他人への思いやりの心を養い、将来信頼される技術者になれるようにとの教育的見地から適切な生活指導を行っています。

寮生は、通学に時間がかからないため、時間的に余裕を持って、勉学や課外活動に励むことができるので、通学に長時間を要する者については、入寮することを勧めています。学生寮の入寮定員は164名(うち女子学生41名)で、月額寮費(食費、光熱費、水道料等)は約50,000円です。

14. 就職状況

求人は就職希望者の20倍以上あり、就職率は例年ほぼ100%です。

なお、令和元年度の専門5コース【機械創造システムコース、知能ロボットシステムコース、電気電子コース、情報システムコース、物質化学コース】からの卒業生及び専攻科修了生の主な就職先は次のとおりです。

コース	就	職	先	
機械創造システムコース	旭化成(株) 旭硝子(株) 出光エンジニアリング(株) ANA ラインメンテナンス株式会社(株) 日鉄プラント設計(株) NOK(株) オリンパス(株) 花王(株) 川崎重工業(株) 関西電力(株) キャンマーケティンギングジャパン(株)	九州小島(株) 九州旅客鉄道(株) 京セラ(株) 黒崎播磨(株) (株)小松製作所 サントリープロダクツ(株) サントリーホールディングス(株) JX エンジニアリング(株) JFE スチール(株) 島津プレジジョンテクノロジー(株) (株)シマノ	シロキ工業(株) セイコーエプソン(株) 第一精工(株) ダイキン工業(株) (株)ディスコ 東レ(株) TOTO(株) トヨタ自動車(株) (株)トヨタロガクシオンエンジニアリング 西日本旅客鉄道(株) 日産自動車(株)	日鉄物流(株) 日本たばこ産業(株) (株)マツダ E&T 三井造船(株) 三菱ケミカル(株) 三菱重工業(株) 三菱電機ビルテクノサービス(株) 三菱マテリアル(株) 村田機械(株) (株)安川電機 ライオン(株)
知能ロボットシステムコース	ANA ラインメンテナンス株式会社(株) 江崎グリコ(株) NTT コムエンジニアリング(株) オムロン(株) 花王(株) 川崎重工業(株) 関西電力(株) キャンノン(株) キャンマーケティンギングジャパン(株) 京セラ(株) (株)小松製作所	(株)ジェイベック (株)資生堂 (株)SUBARU セイコーエプソン(株) ソニーLSI デザイン(株) ソニーエンジニアリング(株) ダイキン工業(株) ダイハツ工業(株) DMG 森精機(株) 電源開発(株) (株)東芝	TOTO(株) トヨタ自動車(株) トヨタ自動車九州(株) (株)トヨタロガクシオンエンジニアリング 西日本旅客鉄道(株) 日揮(株) 日本信号(株) 日本たばこ産業(株) パナニック(株)アプライアンス社 パナニック(株)ネットワークソリューションズ社 富士ソフト(株)	富士通(株) 富士電機(株) 富士フイルムメディカルITソリューションズ(株) 本田技研工業(株) (株)三井ハイテック 三菱電機ビルテクノサービス(株) 村田機械(株) (株)メンバーズ (株)YE DIGITAL (株)安川電機 ユニチカ(株)
電気電子コース	旭化成(株) ANA ラインメンテナンス株式会社(株) 日鉄プラント設計(株) (株)NTT フィールドテクノ MHPS エンジニアリング(株) 大阪ガス(株) 花王(株) 関西電力(株) キャンノン(株) 九州電力(株) 九州旅客鉄道(株)	サントリープロダクツ(株) JFE プラントエンジニア(株) ジャパンマリンエナテック(株) 日本製鉄(株) SUBARU テクノ(株) 第一精工(株) ダイキン工業(株) 中国電力(株) 中部電力(株) 東海旅客鉄道(株) (株)東芝	東芝エレベーター(株) 西日本旅客鉄道(株) 日産自動車九州(株) 日鉄鋼板(株) 日鉄物流(株) 日立ビルシステム(株) 日立プラントコンストラクション(株) ファナック(株) 富士通(株) 富士電機(株) 三井不動産(株)	三浦工業(株) 三菱電機(株)神戸製作所 三菱電機ビルテクノサービス(株) 三菱電機プラントエンジニアリング(株) 三菱日立パワーシステムズ(株) (株)明電舎 安川電機(株) 雪印メグミルク(株) (株)LIXIL リコージャパン(株)
情報システムコース	アイシンコムクルーズ(株) 旭化成(株) 出光興産(株) (国研)宇宙航空研究開発機構 NTT コミュニケーションズ(株) 大分キャンノン(株) 大阪ガス(株) 関西電力(株) キャンマーケティンギングジャパン(株) 九州電力(株) 九州旅客鉄道(株)	九電テクノシステムズ(株) 京セラ(株) サイバートラスト(株) サントリープロダクツ(株) 日本製鉄(株) SUBARU テクノ(株) セイコーエプソン(株) (株)セゾン情報システム ソニーDNA(株) (株)ソフトサービス デンソーテクノ(株)	東海旅客鉄道(株) 東レ(株) TOTO(株) トヨタ自動車(株) トヨタ自動車九州(株) (株)トヨタロガクシオンエンジニアリング 日産自動車九州(株) 日鉄テックスエンジニア(株) 日本アイ・ピー・エム(株) 日本電子(株) (株)日立製作所	富士ソフト(株) 富士通(株) (株)富士通九州システムサービス 富士通ネットワークソリューションズ(株) ブリヂストンソフトウエア(株) マツダ(株) (株)三井ハイテック (株)YE DIGITAL (株)安川電機 ユニ・チャーム(株) (株)リコー
物質化学コース	旭化成(株) (株)アスカコーポレーション アステラスファーマテック(株) 岩谷瓦斯(株) 宇部興産(株) 王子マテリア(株) 大分キャンノン(株) 大阪ガス(株) (株)大阪ソーダ 花王(株)	関西電力(株) 九州化学工業(株) 京セラ(株)鹿児島国分工場 味の素食品(株) 栗田工業(株) (独)国立印刷局 沢井製薬(株) サントリーホールディングス(株) 三洋化成(株) JNC エンジニアリング(株)	JNC(株)水俣製造所 (株)資生堂 昭和電工(株) 住友精化(株) 第一三共ケミカルファーマ(株) 第一三共プロファーマ(株) 武田テバファーマ(株) 田辺三菱製薬工場(株) デンカ(株) 東海旅客鉄道(株)	東洋インキ(株) 東レ(株) 日東電工(株) (株)日本触媒 彦島製鉄(株) 富士フイルムメディカルITソリューションズ(株) (株)三井化学分析センター 三井製糖(株) 森永乳業(株) ユニチカ(株)
専攻科	旭化成ケミカルズ(株) 味の素(株) 日鉄プラント設計(株) (株)エス・ティ・ティ・ド・コム九州 大阪ガス(株) (株)カネカ	カヤバ工業(株) 九州電力(株) サントリーホールディングス(株) 山陽特殊製鋼(株) シャボン玉石けん(株) セイコーエプソン(株)	DIC(株) 東京エレクトロン(株) 東芝プラントシステム(株) 東洋鋼板(株) トヨタ自動車九州(株) (株)トヨタロガクシオンエンジニアリング	日東電工(株) 日本アイ・ピー・エム(株) 日本化薬(株) 日本精工(株) 東日本旅客鉄道(株) 三井ハイテック(株)

15. 進学状況

本校は、卒業生の約半数が北九州高専専攻科や国立大学工学部を始めとして、理学部、経済学部などに進学しています。更に、専攻科修了生の約半数は大学院に進学しています。

なお、主な進学先は次のとおりです。

(高専卒業生)

【国公立大学】				【私立大学】	
岩手大学	京都工芸繊維大学	上智大学			
東北大学	奈良教育大学	日本大学			
秋田大学	大阪大学	慶応義塾大学			
茨城大学	大阪府立大学	東京都市大学			
筑波大学	神戸大学	岡山理科大学			
埼玉大学	兵庫県立大学	福岡工業大学			
千葉大学	和歌山大学				
東京大学	岡山大学				
東京農工大学	岡山県立大学				
首都大学東京	徳島大学				
東京工業大学	香川大学				
電気通信大学	愛媛大学				
お茶の水女子大学	広島大学				
横浜国立大学	山口大学				
山梨大学	九州工業大学				
静岡大学	北九州市立大学				
新潟大学	九州大学				
信州大学	長崎大学				
岐阜大学	熊本大学				
名古屋大学	大分大学				
豊橋技術科学大学	佐賀大学				
長岡技術科学大学	宮崎大学				
三重大学	鹿児島大学				
金沢大学	琉球大学				
福井大学	北九州高専専攻科				
京都大学					

(専攻科修了生)

【国公立大学】		【私立大学】	
筑波大学大学院	九州工業大学大学院	早稲田大学大学院	
東京大学大学院	熊本大学大学院		
東京工業大学大学院	宮崎大学大学院		
豊橋技術科学大学大学院	鹿児島大学大学院		
大阪大学大学院	北九州市立大学大学院		
島根大学大学院	北陸先端科学技術大学院大学		
広島大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学		
九州大学大学院	総合研究大学院大学		